

## 人にも環境にもやさしい 「紫波型エコハウス」

主要部材の80%以上に町産木材を使用し、紫波の気候に配慮した高断熱・高气密でエネルギー消費量の少ない「紫波型エコハウス」。一人ひとりの生活だけでなく、環境やまち全体、地域経済の循環を考えています。

町産木材の有効活用と町内の経済循環を図るため、一定の研修を積んだ町内建設会社や工務店を指定事業者として「紫波型エコハウス」の普及を進めています。新築だけでなくリフォームなどにも応用できます。健康的で省エネルギーの住宅を検討してみませんか。

■問合せ 環境課 循環政策室 ☎672-2111 内線2250

## 「エコ・ショップしわ」 新たに4店舗を認定



熊谷町長(左から3番目)から認定書を受け取った(左から)ミスタータイヤマンマルショウ紫波の伊藤政之さん、藤屋食堂の鷹觜賢次さん、(有)天狗寿司の高橋淳さん、カフェゆいの木の細川恵子さんと、認定審査に当たった町ごみ減量女性会議の瀬川智子会長と佐々木意子事務局長

町は2月1日、町内で環境に配慮した取り組みを行う「エコ・ショップしわ」の認定証交付式を行いました。新たに認定を受けたのは、カフェゆいの木と(有)天狗寿司、藤屋食堂、ミスタータイヤマンマルショウ紫波の4店舗。カフェゆいの木はフードドライブ(※)、天狗寿司は地産地消、藤屋食堂は食べ残し削減、ミスタータイヤマンマルショウ紫波は店舗独自の3R運動の取り組みなどが評価されました。熊谷町長から認定証とステッカーを手渡された後、各代表が決意を述べ、天狗寿司の高橋さんは「今後も環境や地域、そしてお客さまにやさしい店を目指し、取り組みを進めていきたいです」と今後の展望を語りました。

「エコ・ショップしわ」認定店は今回で24店舗となりました。各店舗では紫波エコbeeクーポンが利用できます。

※フードドライブ…頂き物や買い過ぎてしまったもの、何らかの理由で流通に乗らないものなど、保管されたままの食品をフードバンクを通じて地域の生活困窮者や児童・障がい者施設に寄付する活動。

■問合せ 環境課 生活環境室 ☎672-2111 内線2261

## 紫波型 エコハウスサポート センター宿泊体験

高橋さん家族(佐比内)の体験日誌

築100年にも及ぶ古民家に4世代で住み、主に農業を営む高橋さん家族から、紫波型エコハウスサポートセンターに宿泊した感想を伺いました。

エコハウスは本当に快適で、現在暮らしている築100年の古い構造のわが家から見たら夢のような家でした。もし佐比内地区にあるわが家がこんなに暖かかったらどんなに素敵だろうと思います。環境が変わったせいもありますが、普段は午後9時ごろに寝る子どもも、興奮して午前0時近くまで起きていました。

エコハウスは、高气密住宅で外の音がほとんど聞こえませんが、我が家は鳥の鳴き声や雨・風の音で朝を迎えるので、外の音が聞こえたら最高だと思います。また、古い家だったら居間など一部屋だけ断熱性能を高める改修があってもいいのではないかと感じます。



「エコハウスは家の中のどの部屋も暖かいので、それぞれ自由に過ごせるのがいいですね」と話す高橋さん家族